



いずみさの昔と今 第306回

「絵図をよむ③」村絵図、江戸時代の村の風景

今回は「長滝村絵図」です。前回・前々回は山と海を中心に紹介しましたが、今回は江戸時代の村の光景がわかる絵図になります。

村絵図は、村の領域を対象として描いた絵図であり、古代から明治時代にかけて作成されていますが、一般的に村絵図という場合、江戸時代に作成された一村ごとを対象とした絵図を指します。絵図は前回・前々回にお伝えしたとおり、様々な経緯で作成されますが、幕藩体制下において支配の基礎単位であった村を対象とした絵図は、とりわけ重要であり、その折に触れて作成されました。作成の契機や動機としては検地・領地替え・土地譲渡・新田開発などがあります。主として村の領域内での変更が生じた時や、土地の所有者・利用の帳面を作成した時などに作成されることが多かったようです。「長滝村絵図」は、幕府による天保国絵図事業に際して提出されたものであり、図中には貼紙が多数確認できます。天保の国絵図事業は、幕府による四度目の国絵図作成であり元禄国絵図を改訂することを目的としていました。その為、作成に際しては、元禄から天保6(1835)年までの約130年間で変化した場所について「元禄国絵図の写しに薄紙

を被せ、部分的に修正して提出するように」と命じています。この絵図は西長滝村・中長滝村・東長滝村の三か村が共同で作成しており、それぞれの庄屋・年寄が署名・捺印していることから、村の正式な絵図であることがうかがえます。また、絵図中の貼紙の付け方が幕府の命令と合致していることから、「長滝村絵図」が幕府へ提出されたものであることは確かですが、絵図中の記載と天保6(1835)年に書き込まれたであろう絵図裏書とは家数が一致しないなど齟齬があり、すでに作成されていた絵図に手を加えて天保6(1835)年に役所へ提出したと考えられます。

「長滝村絵図」の貼紙には、溜池の元禄期からの変更点を記載して貼り付けたものや、道の上に紙を貼り付けて道の行き先・目的を記載したものもあり、現在の蟻通神社と帝釈天社の間を通る道には「大井関大明神例年四月二日船岡山江御幸道」とあったり、「上田池」の脇に描かれた「穂浪池」には「文化十三年ヨリ新築仕候」と文化13(1816)年に新築されたことが貼紙に記されています。

絵図の描写は、東・中・西の村の構成を書き入れたものであり、戦時中に移転した野添や松屋の集落、移転以前の蟻通神社、

江戸時代の道なども色分けされてわかりやすく描かれています。神社には常夜灯の形が描かれており、描写の細かさが見て取れます。また、明福寺の近くには「禅興寺跡」「薬師堂」などもあり、禅興寺関連の伝承地が江戸時代にも大切に扱われていることがその描写から伝わってきます。

江戸時代に作成された村絵図は、当時の情景を絵画的描写であるとはいえ、現在を生きる私たちに伝えてくれています。絵図に描かれた道も現在の街並みの中に残っているかもしれません。江戸時代の風景を今に伝える村絵図は、7月25日まで開催中の春季企画展「絵図をよむ」にて展示中です。



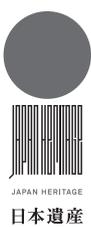
▶長滝村絵図抜粋(現在の蟻通神社がある付近)

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、毎月最終木曜日(いずれも祝日の場合は開館し、その翌日が休館)
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料 無料

日本遺産・中世日根荘を巡る⑳ ～旅引付編(7)「毘沙門堂」～

「日本遺産」に認定された「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」のストーリーを構成する泉佐野市の文化財等を紹介します。

問合せ先 文化財保護課



◀政基公旅引付
※旅引付の写真は、歴史館いずみさの所蔵の複製を使用(原本は宮内庁書陵部所蔵)



毘沙門堂

入山田地区大木の火走神社の東側、山腹の一角にある小堂と小祠が「毘沙門堂(びしゃもんどう)」です。毘沙門堂という名称は、文献にははっきり書かれていませんが、堂のある谷筋は五所谷(御所谷)と呼ばれ、約500年前に九条政基が日根荘での生活を綴った日記「政基公旅引付」には「御所谷集会所」という名前が記されており、おそらく同じ建物ではないかと考えられています。

この地区は古くから南朝方の後村上天皇が仮の行宮であったという伝承も残されています。堂内には本尊の毘沙門天が厨子に安置されていますが、かつて南朝の楠木正成が軍神として毘沙門信仰に厚かったことと関係があるのかもしれませんが。

小堂入口には、昭和12年に建てられた石碑があり、碑文中に「五所谷毘沙門講」と署名されているように、今も毘沙門講が行われています。またその石碑の横には正平3(1348)年の板碑が南北朝時代の往時の姿を物語っています。



▲小堂入口の石碑